



2015年10月30日

各 位

会 社 名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 金城 照夫
(TEL. 06-6201-2461)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異および

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2015年5月11日に公表しました2016年3月期第2四半期連結累計期間(2015年4月1日～2015年9月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、2016年3月期の通期(2015年4月1日～2016年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2016年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異(2015年4月1日～2015年9月30日)
(単位：百万円，%)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期 純利益 |
|------------------------------------|--------|-------|-------|--------------------------|---------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 44,000 | 800 | 950 | 350 | 13.49 円 |
| 今 回 発 表 実 績 (B) | 41,373 | 1,222 | 2,194 | 1,221 | 47.09 円 |
| 増 減 額 (B-A) | △2,626 | 422 | 1,244 | 871 | — |
| 増 減 率 (%) | △6.0 | 52.8 | 131.0 | 249.1 | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2015年3月期第2四半期) | 40,990 | 795 | 288 | △214 | △8.25 円 |

II. 差異が生じた理由

当第2四半期累計期間の業績は、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しい状況で推移しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を下回りました。

営業利益につきましては、製紙用薬品事業の米国および中国子会社の業績好調により、前回の予想を上回りました。

また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益が増加したこと、為替差益を営業外収益に計上したことにより、前回の予想を上回りました。

Ⅲ. 業績予想の修正

2016年3月期通期連結業績予想数値の修正（2015年4月1日～2016年3月31日）

（単位：百万円，％）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 90,000 | 1,700 | 2,000 | 800 | 30.83円 |
| 今回修正予想（B） | 83,000 | 2,300 | 3,400 | 1,500 | 57.81円 |
| 増減額（B－A） | △7,000 | 600 | 1,400 | 700 | － |
| 増減率（％） | △7.8 | 35.3 | 70.0 | 87.5 | － |
| （ご参考） 前期実績（2015年3月期） | 82,691 | 972 | 248 | △1,025 | △39.53円 |

Ⅳ. 修正の理由

海外事業につきましては、欧米を主力市場とするローター社の業績が競合他社との競争により、厳しいと見込まれ、国内事業につきましては、原料価格の下落による、製品価格の修正が見込まれます。その結果、売上高につきましては、前回の予想を下回る見込みとなりました。

また、営業利益につきましては、製紙用薬品事業の米国および中国子会社の業績好調が見込まれることにより、前回の予想を上回る見込みとなりました。

また、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益が増加する見込みであること、為替差益を営業外収益に計上する見込みにより、前回の予想を上回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上